

水俣・芦北地域在宅緩和ケア研修会

昨年度は、「在宅緩和ケアを推進するための連携」をテーマに講演と意見交換を行いました。在宅緩和ケアを推進するためには、関係機関・者の連携はどうあるべきかを考えることができたと思います。

関係者が連携しながら在宅支援をしていくためには、私たち自身が「もっと、いい在宅医療を目指して、在宅緩和ケアの本質の理解を深め、自分に何ができるのかをもう一度振り返り、そして、この地域の実態をきちんと知って進めていく必要があります。

そこで、今年度は福岡市で『在宅医療』に取り組まれ、在宅での看取りの経験から、在宅ケアとは、①いのちを最期まで支える。②自己決定を支える。③家族を支える。④スピリチュアルを支える。⑤地域で支える。が「支えるケアとしての在宅ケア」の5つの柱と考えて、いろいろな機関と連携しながら『在宅医療』をされている二ノ坂先生にご講演をいただきます。

また、皆様方にご協力いただいたアンケートの結果報告もいたします。

お忙しいとは思いますが、多くの方のご参加をお待ちしています。

1. 日 時 平成24年1月28日（土）午後2時～午後4時

2. 場 所 つなぎ文化センター

芦北郡津奈木町岩城1588-2（電話 0966-78-3096）

3. 参加者 水俣・芦北地域の保健医療福祉従事者

4. 内 容

テーマ「よりよい在宅ケアをめざして」

～関係者が在宅緩和ケアの本質の理解を深め、ネットワークについて考える機会に！～

（1）講演 講師：にのさかクリニック 院長 二ノ坂保喜氏

（2）アンケート調査結果報告：水俣・芦北地域在宅緩和ケア検討会

（3）質疑応答及び意見交換

5. 主 催 熊本県水俣保健所 水俣芦北地域在宅緩和ケア検討会

共 催 水俣市芦北郡医師会 看護協会水俣芦北支部

介護支援専門員水俣芦北支部